

貨幣の資産評価関数の構成と 基本性質

経済学部
経済学科
教授

関根 順一



研究シーズの紹介

現実の市場経済において大多数の市場取引は、財と貨幣が交換される貨幣取引であり、市場経済は実際上、貨幣経済である。各経済主体は、貨幣取引の過程で一時的にせよ貨幣を保有する。このとき、貨幣は他の実物資産と並んで各経済主体の保有資産を構成するが、貨幣資産の資産価値は、

どのようにして評価されるのだろうか。本研究では、交換の媒介という貨幣の機能に基づいて貨幣の資産評価関数を理論的に構成し、貨幣資産の資産評価を行う。その上で、貨幣取引の理論研究を展望しつつ、貨幣の資産評価関数の基本性質を調べた。



貨幣取引

- 貨幣の資産評価関数により貨幣資産の資産評価を行うことが可能です。
- 貨幣資産の資産価値の決定要因を明示する効果があります。

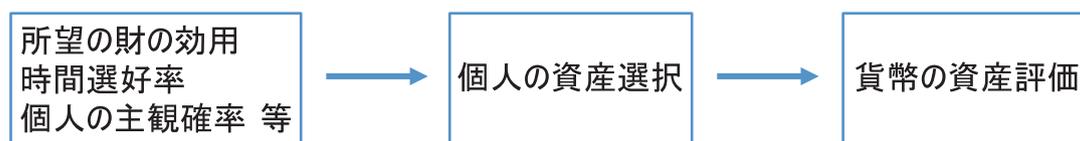
貨幣取引



一時的な保有

貨幣資産の資産価値は、どのように評価されるか。

貨幣の資産評価関数



期待される活用シーン

- 貨幣取引に関する理解を深めたい
(例：ユーザー)



貨幣資産の資産評価に関する新しい考え方を知り、貨幣取引や債券取引の理論研究を展望できる。